

コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル)2015

実施報告書



CoFesta

2015

目次

【はじめに】

コ・フェスタ 2015 実施報告書発行にあたり 2

【運営体制】

コ・フェスタとは?／運営組織／実行委員会 3

コ・フェスタ実行委員会 委員一覧 4

【開催概要】

コ・フェスタ 2015 参加イベント一覧 5

【コアイベント】

東京ゲームショウ 2014 7

Japan Content Showcase 2015

第 12 回東京国際ミュージックマーケット 8

TIFFCOM 2015 Marketplace for Film & TV in Asia 9

東京国際アニメ祭 2015 秋 10

第 28 回東京国際映画祭 11

AnimeJapan 2016 12

【オフィシャルイベント】

KYOTO CMEX 2015 14

CEATEC JAPAN 2015 16

Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2016 S/S 17

第 42 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール 18

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015 19

デジタルコンテンツ EXPO 2015 20

マンガフェスティバル in タイランド 21

Inter BEE 2015 22

【パートナーイベント】

SKIP シティ国際Dシネマ映画祭 2015 24

キネコ国際映画祭 2015 24

第 37 回 PFF ぴあフィルムフェスティバル 25

京都国際マンガ・アニメフェア 2015 25

LA EigaFest 2015 26

吉祥寺アニメワンダーランド 2015 26

2015 きものサローネ in 日本橋 26

MPTE AWARDS 2015 27

Tokyo Docs 2015 27

TOKYO DESIGN WEEK 2015 28

第 7 回京都ヒストリカ国際映画祭 28

第 6 回 映文連 国際短編映像祭

「映文連アワード 2015」 28

第 19 回文化庁メディア芸術祭 29

【コ・フェスタアンバサダー】

コ・フェスタアンバサダー 30

【プロモーション】

広報制作物 33

- ・氏名は敬称略を基本とします。
- ・株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、それぞれ(株)、(社)、(財)、(獨)と略すことを基本とします。
- ・一般社団法人、公益社団法人、一般財団法人、公益財団法人は、それぞれ(一社)、(公社)、(一財)、(公財)と略すことを基本とします。

はじめに



コ・フェスタ実施報告書発行にあたり

コ・フェスタ 2015 実行委員長 大谷 信義

皆様方におかれましては、「コ・フェスタ 2015」の開催に際しまして、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッショニ、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトです。2007年から開催されて9年目を迎えた今年度は、25のコ・フェスタ認定イベントへ、それぞれ国内外より広く多くの方にご来場いただくとともに、業界の垣根を越えた交流やビジネス展開を促進いたしました。

今年度は、さらなる海外発信力強化のため、従来のオフィシャルイベント、パートナーアイベントに加えて、新たなカテゴリーとしてコアイベントを創設いたしました。そのなかでも、今年で4回目の開催となる「Japan Content Showcase 2015」は、映画・放送、音楽、アニメの業界の垣根を越えた合同マーケットとして、日本コンテンツを国内外に発信し、国際ビジネスの発展に大きく貢献いたしました。

また、各イベントの効果的な情報発信を行うため、「JAPACON」と連携し、SNS等を通じて、日本が世界に誇る良質なコンテンツを海外のバイヤーや日本コンテンツファンに対してプロモーションいたしました。

さらに、コ・フェスタの取り組みをより多くの海外ユーザーに認知してもらうべく、本年度も「コ・フェスタアンバサダー」を結成し、日本のコンテンツファンである世界40カ所以上の国と地域より留学生約200名が集まりました。「コ・フェスタアンバサダー2015」では、積極的に各イベントを取り材し、日本コンテンツに直に触れる活動を増やしたうえで、日本コンテンツ関係者やバイヤーとの意見交換を行い、各イベントの広報活動やコンテンツ産業への提言等を行うなど、海外消費者の目線で情報の精査や発信力の向上に貢献いたしました。

ここに、関係各位のご協力のもと、コ・フェスタ 2015 の実施報告書がまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。今年の成果を踏まえ、この9年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感と海外への発信力を一段と高めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、コ・フェスタ 2015 にご参加いただきましたコアイベント、オフィシャルイベント、パートナーアイベントの主催者・後援者、および関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

運営体制 コ・フェスタとは?／運営組織／実行委員会

■コ・フェスタとは?

コ・フェスタとは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファンション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトです。

名 称：コ・フェスタ 2015
主 催：コ・フェスタ実行委員会
開催場所：日本各地および海外
2015年総来場者数：約135万人

●コ・フェスタ開催の目的

クールジャパン戦略の一環として、日本が誇るコンテンツの魅力を効果的に海外に発信することによって、日本ブームを創出することを目的としている。

●取組内容

- ・今年新設されたコ・フェスタコアイベントをはじめとして、オフィシャルイベント、パートナーイベントを集中的に開催し、国際ビジネスの展開をより一層促進する。
- ・留学生アンバサダーの声を活用した「マーケティング」、SNS等を通じた「プロモーション」、幅広い国々との「ビジネスマッチング」といった一連の海外展開プロセスを総合的に支援する。
- ・コンテンツ産業と非コンテンツ産業の橋渡し役として、イベント間の連携を強化するとともに、留学生アンバサダーを活用し、日本コンテンツや各種イベントの効果的な情報発信に努める。

■運営組織

- 実行委員会 コンテンツ系各業界および関係省庁、関係団体からの委員で構成する。
●実行本部 実行委員会の方針のもとに、事業の運営、統括を実施する。

■コ・フェスタ実行委員会

コ・フェスタの最高意思決定機関として、上申された事項を審議、決議するとともに、コ・フェスタの各イベントの実施および広報活動ならびに各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

●委員会の開催

日時：2015年7月28日（火）
場所：大手町サンケイプラザ 3Fカンファレンスルーム301～303

【審議事項】

- 第1号議案 「コ・フェスタ実行委員会規約」一部変更の件
第2号議案 コ・フェスタ実行委員選任の件
第3号議案 新たなイベントカテゴリー選定の件
第4号議案 オフィシャルイベントなど承認の件

【報告事項】

- (1) 関係各省庁よりコ・フェスタ 2015海外展開支援へのメッセージ
(2) コ・フェスタアンバサダーの活動について





運営体制 コ・フェスタ実行委員会 委員一覧

2015年7月28日現在(敬称略)

【委員長】

大谷 信義	一般社団法人 映画産業団体連合会 会長 (松竹株式会社 代表取締役会長)
-------	---

【副委員長】

依田 翼	一般社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長 (ギャガ株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO)
迫本 淳一	公益財団法人 ユニジャパン 理事長 (松竹株式会社 代表取締役社長)
重延 浩	株式会社テレビマンユニオン 会長 ゼネラルディレクター 取締役
松谷 孝征	特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長 (株式会社手塚プロダクション 代表取締役社長)

【委員】

市原 健介	一般財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事
井上伸一郎	株式会社KADOKAWA 代表取締役専務執行役員
井上 弘	一般社団法人 日本民間放送連盟 会長 (株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役会長)
岡田 裕介	一般社団法人 日本映画製作者連盟 会長 (東映株式会社 代表取締役グループ会長)
岡村 秀樹	一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長 (株式会社セガゲームス 代表取締役会長)
加藤 隆司	日本政府観光局(JNTO) 総括理事
斎藤 正明	一般社団法人 日本レコード協会 会長 (ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役社長)
椎名 保	東京国際映画祭 ディレクター・ジェネラル (株式会社KADOKAWA 取締役相談役)
野間 省伸	株式会社講談社 代表取締役社長
三宅 正彦	一般社団法人 日本ファッショント・ウイーク推進機構 理事長 (株式会社TSIホールディングス 代表取締役会長兼社長)
宮本 聰	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 副理事長
糸井 勝人	日本放送協会 会長
矢内 広	ぴあ株式会社 代表取締役社長
和崎 信哉	一般社団法人 衛星放送協会 会長 (株式会社WOWOW 代表取締役社長)

(以上、50音順)

増田 義一	内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長
渡辺 克也	総務省 官房審議官(情報流通行政局担当)
新美 潤	外務省 大臣官房国際文化交流審議官
佐伯 浩治	文化庁 文化部長
大橋 秀行	経済産業省 大臣官房審議官(IT戦略担当)
吉田 雅彦	国土交通省観光庁 観光地域振興部長
坂本 雅彦	東京都産業労働局観光部長

【監事】

倉内 均	一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 理事長 (株式会社アマゾンラテルナ 代表取締役会長)
村瀬 治男	一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 会長 (キヤノンマーケティングジャパン 代表取締役会長)

開催概要 コ・フェスタ 2015 参加イベント一覧

コアイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	東京ゲームショウ 2015	9月17日 (木)～20日 (日)	幕張メッセ
2	Japan Content Showcase 2015	10月20日 (火)～22日 (木)	ホテルグランパシフィック LE DAIBA／Zepp Diver City TOKYO
3	第28回東京国際映画祭	10月22日 (木)～31日 (土)	六本木ヒルズ(港区)／新宿バルト9／新宿ピカデリー／TOHOシネマズ新宿(新宿区)他都内の各劇場及び施設・ホールを使用
4	AnimeJapan 2016	2016年3月25日 (金)～27日 (日)	東京ビッグサイト

オフィシャルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	KYOTO CMEX 2015	7月11日 (土)～12月5日 (土)	みやこめっせ、京都国際マンガミュージアム 他
2	CEATEC JAPAN 2015	10月7日 (水)～10日 (土)	幕張メッセ
3	Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2016 S/S	10月12日 (月)～18日 (日)	渋谷ヒカリエ、メルセデス・ベンツ コネクション
4	第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	10月15日 (木)～22日 (木)	NHK放送センター
5	国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015	10月21日 (水)～22日 (木)	東京プリンスホテル
6	デジタルコンテンツ EXPO 2015	10月22日 (木)～25日 (日)	日本科学未来館
7	マンガフェスティバル in タイランド	11月6日 (金)～11月8日 (日)	バンコク
8	Inter BEE 2015	11月18日 (水)～20日 (金)	幕張メッセ

パートナーイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 2015	7月18日 (土)～26日 (日)	SKIPシティ映像ホール／多目的ホールほか
2	キネコ国際映画祭 2015	8月11日 (火)～15日 (土)	渋谷区文化総合センター大和田さくらホール／シダックス・カルチャービレッジ
3	第37回 PFF ぴあフィルムフェスティバル	9月12日 (土)～2016年4月	東京国立近代美術館フィルムセンター／京都シネマ／神戸アートビレッジセンター／愛知芸術文化センター／福岡市総合図書館
4	京都国際マンガ・アニメフェア 2015	9月19日 (土)～20日 (日)	みやこめっせ／京都国際マンガミュージアム
5	LA EigaFest 2015	9月25日 (金)～27日 (日)	L.A. LIVE - Regal Cinemas L.A. Stadium
6	吉祥寺アニメワンダーランド 2015	10月3日 (土)～12日 (月)	吉祥寺駅周辺(吉祥寺シアター・井の頭公園ステージ・武蔵野商工会館・武蔵野公会堂ほか)
7	2015きものサローネ in 日本橋	10月7日 (水)～10日 (土)	COREDO室町1三井ホール／YUITO日本橋室町野村ビルほか
8	MPTE AWARDS 2015	10月18日 (日)	六本木アカデミーヒルズ4F
9	Tokyo Docs 2015	10月23日 (金)～28日 (水)	千代田放送会館
10	TOKYO DESIGN WEEK 2015	10月24日 (土)～11月3日 (火)	明治神宮外苑絵画館前
11	第7回京都ヒストリカ国際映画祭	10月31日 (土)～11月8日 (日)	京都文化博物館、京都みなみ会館
12	第6回 映文連 国際短編映像祭 「映文連アワード 2015」	11月25日 (水)～27日 (金)	表彰式：国立新美術館 講堂 上映会：ユーロライブ
13	第19回文化庁メディア芸術祭	2016年2月3日 (水)～14日 (日)	国立新美術館ほか



CoFesta2015 Core Events

コ・フェスタコアイベントは、コ・フェスティベントのうち、国際性及び規模等において、コ・フェスタの集中的な支援による効果が期待できるイベントとして、コ・フェスタ実行委員会が認定したイベントである。本年度新たに設定されたイベントであり、4イベントが認定された。

東京ゲームショウ2015

Japan Content Showcase 2015

- ・第12回東京国際ミュージックマーケット
 - ・TIFFCOM 2015 Marketplace for Film & TV in Asia
 - ・東京国際アニメ祭 2015秋
-

第28回東京国際映画祭

AnimeJapan 2016

コアイベント

TOKYO GAME SHOW 2015

名 称：東京ゲームショウ2015
 会 場：幕張メッセ展示ホール1～11 国際会議場、イベントホール
 主 催：(一社)コンピュータエンターテインメント協会
 共 催：日経BP社
 後 援：
 対 象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
 来場者数：268,446人

■内容

「東京ゲームショウ2015」は、「世界最上級のゲームビジネスイベント」を目指すことと「一般来場者の満足度向上」を中期的な目標に掲げ、『もっと自由にGAMEと遊ぼう。』をテーマに9月17日（木）～20日（日）の4日間、千葉・幕張メッセにて開催しました。

4日間を通じた総来場者数は、歴代2位となる26万8,446人を記録し、海外メディアからの取材数は、のべ66媒体・1,419人を超えて過去最多となった。

出展社数についても、昨年の421社から480社と増え、過去最多を更新した。このうち国内出展社は234社、海外出展社は246社となり、今回初めて海外出展社数が国内を上回る結果となった。特に、中国や韓国、台湾などの東アジア地域出展社の増加傾向は昨年から継続しているほか、南米からの出展社も増加した。

BtoBにおいては、「世界最上級のゲームビジネスイベント」とするためには、国際的な商談を促進することが重要と考え、昨年と同様、会期前にアポイントメントを成立させるためのシステムを稼働した。その結果、登録社数は昨年より136社増え1,011社。出展社以外のクウェートやクロアチア、セルビア、トルコ、ハンガリーなどからもエントリーがあり、国際的な商談交渉が行われ、商談成立数は606件となった。また、会期中の商談の場となるビジネスミーティングエリアでは、商談スペースを拡大した結果、出展社が54社（昨年は40社）と過去最多になったことも手伝い、同エリアにおける商談数は昨年の437件から475件となった。

BtoCについては、「一般来場者の満足度向上」を目標に、混雑を緩和するため、会期以来初めて幕張メッセ全館（1～11ホール、イベントホール、国際会議場）を使用し、各コーナーの特性に合わせた会場内レイアウトの再配置や一般来場者の入場動線の再構築など新たな施策を実施した。

また、海外来場者に対する満足度を向上させるために、経済産業省による「地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開促進事業費補助金（J-LOP+）」を利用して、ビジネスデイの通訳者やバイリンガルスタッフなどの増強を行ったほか、会場内看板の外国語表示の増強にも取り組んだ。

さらに、会期中は、当協会のもう一つのメインイベントである「日本ゲーム大賞2015」の発表授賞式が執り行われ、近年の家庭用ゲーム業界の発展に寄与した人物に贈られる「経済産業大臣賞」、年間を代表する作品を表彰する「年間作品部門」、東京ゲームショウ2015に出展された未発売作品を対象とする「フューチャー部門」、オリジナルの未製品化作品を対象とする「アマチュア部門」の発表、表彰を行った。また、TGS公式動画チャンネルにて「年間作品部門」「アマチュア部門」の発表授賞式の生配信を初めて実施し、会場に来られない多くのゲームファンや業界関係者が視聴し、好評を得た。

なお「年間作品部門」では、『妖怪ウォッチ2 元祖／本家／真打』（株）レベルファイブが大賞を受賞。妖怪ウォッチは、シリーズ作品として昨年に続く、2年連続の大賞受賞の快挙となった。

また、「経済産業大臣賞」は「大乱闘スマッシュブラザーズ」シリーズをはじめとした数多くのヒット作品を手掛け、業界の発展に寄与された点が評価され、桜井政博氏（（有）ソラ代表）に贈られた。

「アマチュア部門」については、今年のテーマ「時間」に基づいた作品を募集。285作品の応募作品の中から、厳選なる審査の結果、東京工芸大学の「10動説」が大賞を受賞した。

「フューチャー部門」は、東京ゲームショウ2015の会期中3日間、来場者による投票を実施し、日本ゲーム大賞選考委員による審査の結果、10作品が今後が期待される作品として選出された。



コアイベント



名 称：第12回東京国際ミュージックマーケット
 会 期：2015年10月20日～22日
 会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA／Zepp DiverCity TOKYO
 主 催：経済産業省／(公財) ユニジャパン／(一財) 音楽産業・文化振興財団／(一社) 日本動画協会
 共 催：第28回東京国際映画祭
 後 援：総務省／外務省／観光庁／(一社) 映画産業団体連合会／(一社) 衛星放送協会／特定非営利活動法人 映像産業振興機構／(一社) 外国映画輸入配給協会／国際交流基金アジアセンター／(一社) コンサートプロモーターズ協会／(一社) コンピュータエンターテインメント協会／(一社) 私的録音補償金管理協会／協同組合 日本映画製作者協会／(一社) 日本映画製作者連盟／(一社) 日本映像ソフト協会／(一社) 日本音楽事業者協会／(一社) 日本音楽出版社協会／(一社) 日本音楽制作者連盟／(一社) 日本音楽著作権協会／(一社) 日本経済団体連合会／(公社) 日本芸能実演家団体協議会／(独) 日本貿易振興機構／(一社) 日本民間放送連盟／(一社) 日本レコード協会
 対 象：映画／テレビ／アニメーション／VIDEO & DVD／携帯／インターネット／コミック／デジタルメディアコンテンツ／音楽／出版などのコンテンツホルダー
 来場者数(延べ)：24,236人

■内容

1. 個別商談会

日 時：10月20日(火)～22日(木) 9:30～18:30 (最終日のみ 17:30 終了)

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA

TIMM 参加ブース出展数：36社・団体

TIMM ブース出展 34社・団体 (国内27 海外7)

TIFFCOM ゾーンにおける出展 2社 (国内2)

TIMM 招聘バイヤー：50名 (JETRO 招聘含む)

2. ビジネスセミナー

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA「セミナールーム1」

10月20日(火)

・10:00「日本の音楽輸出における戦略とは」

ロブ・シュワルツ(ビルボード誌)／Jeff Miyahara(音楽プロデューサー)／ガブリエル・ウィーラー(アーベーマ・ミュージック)／

駒崎絵里(株)ソニー・ミュージックアーティスツ)／Krystal Yang(SIVA Group)

・11:30「世界に広がるジャパンカルチャーイベントとジャパンコンテンツ戦略」

中川悠介(アソビシステム(株))／ショーン・チン(SOZO Pte Ltd)／

丸茂和博(CROSS MEDIA LTD)／吉田猛(J-POP SUMMIT)／

ピュオン・ファブリス(Japan Expo)

10月21日(水)

・10:00「日本市場においての、音楽ストリーミング・サービスの今後の展望とは」

ジェイ・コウガミ(デジタル音楽ジャーナリスト)／八木達雄(KKBOX Japan)／

小野哲太郎(AWA)／高橋明彦(LINE MUSIC(株))／山崎浩司(株)レコチョク)／

鬼頭武也(Google)

・11:30「世界のアニメコンベンションが抱える現在の問題と今後の進むべき道とは」

井上俊次(株)ランティス)／彌富健一(アニメコンソーシアムジャパン)／

マーク・ペレス(Anime Expo)／ジェニファー・ビロ(Otakorp,inc)／

近沢隆(Yamato Corporation)

10月22日(木)

・10:00“RIAJ共催”Sync Summit @TIMM; a J-Music LAB seminar

マーク・フリーザー(SyncSummit)／グウェン・ライリー(Disney Interactive)／

ノラ・フェルダー(Picture Music)／ジョン・ビッセル(Mothlight Music)／

トッド・ポーター(Goodby Silverstein)

・11:15“MPAJ共催”日本及びアジアのマーケット・レビュー及び海外からの著作権使用料の徴収について

ジョニー・トンプソン(株)日音)／瀬尾康二(エイベックス・パブリッシング(株))

・12:15“MPAJ共催”韓国・台湾・日本における作家同士による楽曲の共同制作(Co-Write)及び楽曲採用に至る経緯について

ジョニー・トンプソン(株)日音)／Hyowon Chung(S.M.Entertainment, Co., Ltd)／

Pehsun Su(SonyATV Taiwan)／大工原望(日本テレビ音楽(株))

3. ショーケースライブ(商談会会場)

日 時：10月20日(火)・21日(水)

会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA「セミナールーム1」

出演者：(出演順)

10月20日(火) 14:30～17:00

PURPLE HUMPTY／ピノキオピー／最上川司／Yucca／Charisma.com

10月21日(水) 14:30～17:30

AUNJクラシック・オーケストラ／JMC／UMI☆KUUN／THE SxPLAY／

矢後憲太／赤マルダッシュ☆

4. 連携イベント

会 場：Zepp DiverCity TOKYO

日 時／出演者：

10月20日(火) 開場18:30 開演19:30「SEKAI NO OWARI at TIMM」

出演 SEKAI NO OWARI

10月21日(水) 開場18:00 開演19:00「SCANDAL | androp at TIMM」

出演 FLIP／androp／SCANDAL(出演順)

10月22日(木) 開場17:30 開演18:30「OLDCODEX at TIMM」

出演 OLDCODEX

コアイベント



名 称：TIFFCOM2015～Marketplace for Film & TV in Asia～／Japan Content Showcase 2015
 会 期：平成27年10月20日(火)～22日(木)
 会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA
 主 催：経済産業省／(公財)ユニジャパン／(一財)音楽産業・文化振興財団／
 　　(一社)日本動画協会
 共 催：第28回東京国際映画祭
 後 援：総務省／外務省／観光庁／(一社)映画産業団体連合会／
 　　(一社)衛星放送協会／特定非営利活動法人 映像産業振興機構／
 　　(一社)外国映画輸入配給協会／国際交流基金アジアセンター／
 　　(一社)コンサートプロモーターズ協会／
 　　(一社)コンピュータエンターテインメント協会／
 　　(一社)私的録音補償金管理協会／協同組合 日本映画製作者協会／
 　　(一社)日本映画製作者連盟／(一社)日本映像ソフト協会／
 　　(一社)日本音楽事業者協会／(一社)日本音楽出版社協会／
 　　(一社)日本音楽制作者連盟／(一社)日本音楽著作権協会／
 　　(一社)日本経済団体連合会／(公社)日本芸能実演家団体協議会／
 　　(独)日本貿易振興機構／(一社)日本民間放送連盟／(一社)日本レコード協会
 対 象：映画／テレビ／アニメーション／VIDEO & DVD／携帯／インターネット／
 　　コミック／デジタルメディアコンテンツ／音楽／出版などのコンテンツホルダー

■内容

●出展者データ

出展団体数：347 ※過去最高を記録
 出展参加国と地域数：24の国と地域
 出展内訳：日本：217 海外：130
 海外パビリオン：イギリス、インドネシア、韓国(映画/TV)、カンボジア、タイ、
 　　台湾、マレーシアの計7の国と地域より8団体が出展

●バイヤー登録数：1,433名 ※過去最高を記録

●来場者数(延べ)：24,236名

商談件数：6,663件(3日間)
 成約金額：\$52,720,000

◆関連イベント等

●セミナーおよびマッチングイベント

Netflix、Huluなどの動画配信サービスをはじめ、業界の新たなトレンドを捉えたセミナーが大反響を呼んだほか、ピッチングセッションやマッチングイベントが連日開催された。映画・TV・音楽・アニメなどのマルチメディアコンテンツが集結するJCSだからこそ実現した、こうしたセミナーの数々は、関係者の注目を集め、活発な商談を促した

●JETROによる日本コンテンツ輸出支援イベント

TIFFCOM会期中に、会場内にてビジネス・マッチング商談会を開催。また動画配信サービス扱ったセミナーを共同で開催した

●国際交流基金アジアセンターとの取り組み

アジアのセラーやバイヤーの招聘、招聘者による各国のコンテンツ事情を紹介するセミナーや、JETROと協力しビジネス・マッチング商談会を開催。また東京国際映画祭と共にアジア・ネットワーキング・レセプションを開催した

●日印ライセンス＆キャラクタービジネスセミナーおよびマッチングイベント

日本側参加者とのマッチング商談会の機会を設け、日印間のビジネスネットワーキングを支援。3.5億人以上と言われるインドのキャラクタービジネス市場を知る貴重な機会を提供



コアイベント



名 称：東京国際アニメ祭 2015秋 (TIAF)
 会 期：平成27年10月20日(火)～22日(木)
 会 場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA
 主 催：経済産業省／(公財) ユニジャパン／(一財) 音楽産業・文化振興財団／
 (一社) 日本動画協会
 共 催：第28回東京国際映画祭
 後 援：総務省／外務省／観光庁／(一社) 映画産業団体連合会／(一社) 衛星放送協会／
 特定非営利活動法人映像産業振興機構／(一社) 国外映画輸入配給協会／
 国際交流基金アジアセンター／(一社) コンサートプロモーターズ協会／
 (一社) コンピュータエンターテインメント協会／(一社) 私的録音補償金管理協会／
 協同組合日本映画製作者協会／(一社) 日本映画製作者連盟／(一社) 日本映像ソフト協会／
 (一社) 日本音楽事業者協会／(一社) 日本音楽出版社協会／(一社) 日本音楽制作者連盟／
 (一社) 日本音楽著作権協会／(一社) 日本経済団体連合会／
 (公社) 日本芸能実演家団体協議会／(株)日本貿易振興機構／(一社) 日本民間放送連盟／
 (一社) 日本レコード協会
 対 象：国内外のバイヤー、アニメ・映像・音楽ビジネス関係者
 来場者数(延べ)：24,236名

■内容

東京国際アニメ祭 2015秋 (TIAF) では、JCS2015において、各アニメ制作会社の話題のTVシリーズや最新劇場公開等のアニメ作品を国内外に広く発信し、BtoBの商談会を行いました。

また、本年度は、世界的に人気の高い日本のアニメを始め、コミックや小説のドラマ化・映画化、リメイクのための「原作ピッチ」を実施や、日本のキャラクター＆作品の海外展開に向けたピッチセッション、アニメの国際共同製作を推進するためのマッチング等を実施しました。

●セミナー&ピッチング・セッション

<(株)テレビ東京における“国際共同制作”について>

- 登壇者：川崎由紀夫 (株)テレビ東京 アニメ局 局長

<神風動画における海外クリエイティブの可能性(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：水崎淳平 ((有)神風動画 代表取締役/演出)

<(株)ファンワークス「ソーシャルメディア時代における国際共同アニメ製作の未来と大いなる可能性(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：高山 晃 ((株)ファンワークス 代表取締役社長)

<アニメ・キャラクター×海外市場における商品展開の現状と可能性>

- 登壇者：陸川和男 ((株)キャラクター・データバンク 代表取締役、(一社) キャラクター・データバンク・ライセンス協会 理事／事務局長)

野林徳行 ((株)レッグス 常務執行役員 CMO)

<(株)講談社 日本のマンガの無限の可能性とは?(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：松下卓也 ((株)講談社 ライツ事業部 部長)

金子義雄 ((株)講談社 国際ライツ事業部 部長)

中里郁子 ((株)講談社 なかよし・ARIA・エッジ編集部 部長)

<Tokyo Creators NEXT プレゼンテーション(ピッチング・セッション)>

<日本の国際共同製作映画支援について>

- 登壇者：前田健成 ((公財) ユニジャパン 国際支援グループ グループマネージャー)

<日韓における映像コンテンツ産業の現状と今後の発展について(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：金泳德 (韓国コンテンツ振興院 海外市場調査チーム チーム長)

<『アニメ×地域』の最前線～アニメと地域の各種コラボ展開等について～>

- 登壇者：和田昌之 (エクスアーツジャパン(株) 代表取締役社長) /

野田政成 (西武鉄道(株) 運輸部 スマイル＆スマイル室 課長補佐)

<(株)タツノコプロ 海外ビジネスへの取り組みと可能性について(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：春名和道 ((株)タツノコプロ 海外ビジネス部 副部長)

<(株)手塚プロダクション 映像化ライセンスの可能性(ピッチング・セッション)>

- 登壇者：清水義裕 ((株)手塚プロダクション 著作権事業局 局長)

<日本・世界のアニメ作品コラボの可能性(マッチング)>

- 登壇者：(株)タツノコプロ

コアイベント



名称：第28回東京国際映画祭
 会期：2015年10月22日～31日
 会場：六本木ヒルズ（港区）／新宿バールト9／新宿ピカデリー／TOHOシネマズ新宿（新宿区）他
 主催：（公財）ユニジャパン（第28回東京国際映画祭実行委員会）
 共催：国際交流基金アジアセンター（アジア映画交流事業）／東京都（コンペティション部門）
 後援：総務省／外務省／経済産業省／観光庁／港区／新宿区／狹日本貿易振興機構／
 東京国立近代美術館フィルムセンター／（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団／（公財）JKA／
 （一社）日本経済団体連合会／東京商工会議所／（一社）日本映画製作者連盟／（一社）映画産業団体連合会／
 （一社）外国映画輸入配給協会／モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）／
 全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／特定非営利活動法人映像産業振興機構／
 （一社）日本映像ソフト協会／（一財）角川文化振興財団／（一財）デジタルコンテンツ協会／
 （一社）デジタルメディア協会／駐日フィリピン共和国大使館／（一社）新宿観光振興協会
 支援：文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）／経済産業省
 補助：（公財）JKA（競輪補助事業）
 オフィシャルパートナー：木下グループ／日本コカ・コーラ（株）・キヤノン（株）・キヤノンマーケティングジャパン（株）
 プレミアムスポンサー：（株）WOWOW／（株）東宝
 スポンサー：大和証券グループ／（株）ソニー（株）・（株）フィールズ（株）／（株）PCL（株）・（株）ドコモ・アニメストア／
 マスターカード・ジャパン（株）・（株）ぐるなび／（株）イーコーホールディングス（株）・カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）
 コーポレートパートナー：（株）松竹（株）・（株）東宝（株）・（株）KADOKAWA・（株）日活（株）・（株）森ビル（株）・TOHOシネマズ（株）／
 （一社）映画演劇文化協会
 メディアパートナー：読売新聞／J-WAVE／Inter FM／（株）ドワンゴ／スカパーJSAT（株）／THE WALL STREET JOURNAL／
 テレビ朝日／LINE（株）／BS日本映画専門チャンネル／Yahoo! GYAO！
 フェスティバルサポーター：アサヒビール（株）・ゲッティイメージズ（株）・（株）クララオンライン／（株）kazeniwa
 対象：全て（一般・ビジネス）
 来場者数：238,185人

■内容

- オープニング：10月22日（木）六本木エリアにて
レッドカーペット、オープニング・セレモニー、オープニング作品上映『ザ・ウォーク』、オープニング・レセプション
- 歌舞伎座スペシャルナイト：10月26日（月）歌舞伎座にて
片岡愛之助による歌舞伎舞踊「雨の五郎」 映画上映『虎の尾を踏む男達』
- クロージング：10月31日（土）六本木エリアにて
クロージングセレモニー（各賞授賞式）、クロージング作品上映『起終点駅 ターミナル』、クロージング・パーティ
- 作品上映：主要部門・特集
コンペティション、特別招待作品、アジアの未来、日本映画スプラッシュ、ワールド・フォーカス、CROSSCUT ASIA #02 热風!フィリピン、ガンダムとその世界、Japan Now、日本映画クラシックス 他
受賞結果： 東京グランプリ
審査員特別賞
最優秀監督賞
最優秀女優賞
最優秀男優賞
最優秀芸術貢献賞
観客賞
WOWOW賞
アジアの未来 作品賞
国際交流基金アジアセンター特別賞
日本映画スプラッシュ 作品賞
- マーケット
TIFFCOM2015 Marketplace for Film & TV in Asia
- 特別上映作品・共催／提携企画
生誕100年 オーソン・ウェルズ 天才の発見、第12回文化庁映画週間、映像シンポジウム Supported by CINEMA EOS SYSTEM、みなと上映会、日本映画監督協会新人賞、上映とシンポジウム、映画の未来～バリアフリーから広がる新しい観客との出会い、スタートチャンネル×スカパー！映画部『シェーン』（デジタルリマスター版）日本初上映、WOWOW映画工房200回記念 みんなで選ぶこの1本オールナイト上映会 in 東京国際映画祭、「PFFアワード2015」グランプリ受賞作品上映、「SKIPシティシネマ映画祭2015」作品上映、第37回PFF、キネコ国際映画祭2015、第8回したまちコメディ映画祭 in 台東、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015、コリアン・シネマ・ウイーク2015、ショートショート フィルムフェスティバル＆アジア シネマミュージアム—秋の特別上映会—、2015東京・中国映画週間、第12回ラテンビート映画祭、第5回日本学生映画祭、アラン・ドロン特集 唯一無二、そしてその分身、第9回田辺・弁慶映画祭、ポーランド映画祭2015、独立映画鍋セミナー／日本映画の海外販路拡大戦略特に独立系作品の多様性と市場性の両立に向けて、東京国際映画祭×京都ヒストリカ国際映画祭 京都フィルムメーカーZラボ マスターズセッション、MPAセミナー／アニメーションと実写：方向性は異なるか？、MPA／DHUワークショップ、PFF映画製作特別セミナー Supported by CINEMA EOS SYSTEM、MPTE AWARDS 2015 他



コアイベント



名 称：AnimeJapan 2016

会 期：2016年3月25日（金）～27日（日）

会 場：東京ビッグサイト（〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1）

東展示棟1～6ホール【メインエリア】

会議棟1Fレセプションホール【ビジネスエリア】

主 催：(一社) アニメジャパン

特別協賛：dアニメストア

協 賛：(株)SANKYO／フィールズ(株)／PlayStation(R)／(株)ファミリーマート／
SUGOI JAPAN

後 援：経済産業省／(一社) 日本動画協会／コミック出版社の会

対 象：一般来場者／国内・海外ビジネス来場者／招聘海外バイヤー／
アニメ関連企業・団体ほか

総来場者数：135,323人

下記を含む

※ビジネス来場者数（国内・海外）：3,309人

※ファミリーアニメフェスタ 2016来場者数：10,325人

※プレス来場数：468社（国内：409社／海外：59社）

■内容

AnimeJapanは日本を代表するアニメの総合見本市。商談やアニメビジネス情報の収集を主な対象とする「ビジネスエリア」、一般アニメファンを主な対象とする「メインエリア」に大きく分かれる。

●ビジネスエリア [出展社数：43社]

ビジネス出展社とビジネス来場者との商談が行われるビジネスエリアでは、商談スペース、WiFi環境、ドリンクコーナーや、国内外のビジネス来場者からの様々な問い合わせに対応するコンシェルジュの設置など充実の商談環境を有する。

- ・ビジネス来場者数（国内・海外）：3,309人／招聘海外バイヤー 411人
※会期中のべ人数

- ・無料商談スペース、有料個室商談スペース、バイヤーズラウンジの設置
- ・アニメビジネスコンシェルジュの設置
- ・JETRO Anime Biz Match (JETRO 招聘バイヤーと国内企業とのマッチング) の実施
- ・レセプションパーティ（招聘海外バイヤーと出展社とのパーティ）

●メインエリア [出展社数：149社]

メインエリアでは日本を代表するアニメ関連企業が出展ブースにて作品PR・映像上映・グッズ販売・ステージイベントなどを実施。また、様々な魅力的な主催施策を展開しアニメ文化を立体的に楽しむことが出来る。

- ・メインエリア出展ブース
- ・主催施策 (RGBステージ／オープステージ／コスプレイヤーズワールド／WALL OF ANIMATION 2016／フードパーク／フードパークシアター／AJガチャ／プレミアムコラボレーション／クリエイションステージ／Production Works Gallery／進路相談窓口)

●ファミリーアニメフェスタ 2016

AnimeJapan 2016同時開催イベントとして東6ホールでファミリー向けのイベントを開催。小学生以下及びその保護者の入場無料、専用入場口の設置など、ファミリー層に安心して楽しんで頂けるエリアを用意。

- ・主催施策 (キッズワークショップコーナー／プレイコーナー／キャラクターグリーティング／ファミリーステージ／ファミリーフードパーク)

●近隣会場施策

- ・Night Fes（アニソンCLUB！／AJ Night 2016）
- ・アニ☆コン in AnimeJapan



CoFesta2015 Official Events

コ・フェスタオフィシャルイベントは、コ・フェスティベントのうち、国際性に富んだイベントで、その国際性及び規模等においてコア・イベントに準じ、コ・フェスタ実行委員会が承認したイベントである。本年度は8イベントが認定された。

KYOTO CMEX 2015

CEATEC JAPAN 2015

Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2016 S/S

第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015

デジタルコンテンツ EXPO 2015

マンガフェスティバル in タイランド

Inter BEE 2015

CoFesta 2015

オフィシャルイベント



レセプション



コンテンツクロスマディアセミナー



コンテンツパッケージ授業



京都太秦シネマフェスティバル



HISTORICA (ヒストリカ)

名 称：KYOTO Cross Media Experience 2015 (KYOTO CMEX 2015)

会 期：2015年7月11日（土）～2015年12月5日（土）

会 場：みやこめっせ（京都市勧業館）／京都国際マンガミュージアム／
京都商工会議所／東映京都撮影所／松竹撮影所／東映太秦映画村／
京都文化博物館など

主 催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

対 象：国内外のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す大学生、コンテンツに関心のある方など

来場者数：91,367人

■内容

●レセプション

日時：9月18日（金）

会場：京都水族館

概要：KYOTO CMEXを国内外に発信するとともに、コンテンツ産業に携わる国内外のトップランナーやクリエイター等の分野横断的な人材交流を目的に開催した。

●コンテンツクロスマディアセミナー

日時：10月13日（火）、10月28日（水）、10月30日（金）

会場：ハイアットリージェンシー京都／京都商工会議所

概要：コンテンツ業界並びに異業種の人材交流のため、コンテンツ業界で活躍するトップリーダーを招き、セミナーを実施。セミナー終了後には、講師を招いての交流会を開催した。

●コンテンツパッケージ授業

日時：10月3日（土）～12月5日（土）

※期間中の土曜日に8回開催（1日2限授業、10月3日のみ1限）

会場：キャンバスプラザ京都／京都国際マンガミュージアム

概要：コンテンツ分野に関する教育研究を推進している京都の諸大学が協力し、それぞれアート、デザイン、映画、マンガ、アニメ、ゲーム、キャラクターの分野を分担してリレー講義することにより、京都から発展した日本の表現文化、映像文化を総合的に理解し、現状と展望を考える講義を実施した。

●アニメプロジェクト GO-TAN！

日時：10月10日（土）、11月1日（日）、11月7日（土）

場所：天橋立周辺

概要：コスプレや痛車展示、セミナーなどのイベントを開催し、新産業・新しい観光（着地型観光・もてなしの観光）の創出を図った。

●京都太秦シネマフェスティバル

日時：11月7日（土）、11月14日（土）～15日（日）

場所：東映太秦映画村

概要：「映画のまち 京都太秦」で、プロ指導による子ども映画制作ワークショップ、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベントを開催し、太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図った。

●HISTORICA (ヒストリカ)

日時：10月31日（土）～11月8日（日）

会場：京都文化博物館／京都みなみ会館

概要：映画・映像制作の発祥の地である京都において、歴史をテーマにした国際映画祭を開催し、国内外の歴史映画を上映するとともに、映画製作関係者等を招き、クロスマディア展開の手法や国際事業展開の可能性を探った。

オフィシャルイベント



●京都映画若手才能育成ラボ

日時：10月25日（日）～30日（金）

会場：大江能楽堂／松竹撮影所／東映京都撮影所／京都文化博物館など

概要：国内外の若手映画制作者を対象に、短編時代劇映画制作の機会を提供する本格的な時代劇制作ワークショップを実施した。また、「マスターズセッション」を新設し、東京国際映画祭のゲストを講師として招き、交流の場を設けた。



京都映画若手才能育成ラボ

●京都映画企画市

日時：10月28日（水）

会場：京都文化博物館別館

概要：若手映画・映像製作を対象とした企画コンテストを通じて、時代劇の拠点としての京都の優位性を活かし、映画・映像や若手クリエーターが世に出していく仕組みを構築することを目的として開催した。



京都映画企画市

●BitSummit2015

日時：7月11日（土）～12日（日）

会場：みやこめっせ

概要：世界のインディーゲーム開発チームによるブース出展やゲームクリエイターによる講演、パネルディスカッションなど、次世代のデジタルエンターテイメントを体感できるイベントを実施した。



BitSummit2015

●「京都国際マンガ・アニメフェア（略称：京まふ）2015」

日時：9月19日（土）～20日（日）

会場：みやこめっせ（京都市勧業館）

概要：漫画・アニメ関連の57企業・団体がブース出展し、第2会場である京都国際マンガミュージアムと合わせて36,951人の来場者を集めた。マンガ・アニメキャラクターと京都市内企業を中心とした事業者とのタイアップ商品を18社で348種類開発し、フェア内で販売した。また、コンテンツビジネスに関するセミナーやマンガ・アニメを通して京都の伝統産業の魅力に触れていただく摺型友禅染体験教室等の催しも好評であった。



京都国際マンガ・アニメフェア

●CGアニカップ

日時：①9月6日（日） ②11月23日（月）

会場：①京都コンピュータ学院京都駅前校 ②台湾（台南市）

概要：日本と台湾で自主制作されたCGアニメ各5作品を団体戦形式で上映する催しを両国で開催した。



CG アニカップ

●京都版トキワ荘事業「マンガ出張編集部」

日時：9月20日（日）

会場：みやこめっせ（京都市勧業館）（京まふ会場内）

概要：首都圏の出版社のマンガ編集部を京都へ招聘し、マンガ家志望者が原稿を持ち込んで添削やアドバイスを受ける場を設けた。23出版社59編集部が出展し、314人がマンガ原稿の持ち込みを行った。なお、今回は（株）トセも出展し、キャラクターデザイナーの募集をされた。



琳派オマージュ展

●京都国際マンガミュージアム

「RIMP-A NIMATION 琳派400周年×『NEWTYPE』30周年 琳派オマージュ展」

日時：9月19日（土）～11月3日（火）

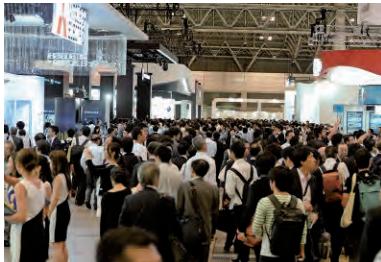
会場：京都国際マンガミュージアム

概要：琳派とマンガ・アニメ、伝統産業とのコラボレーションによる展示・物販を行う企画展を開催した。

CoFesta 2015

オフィシャルイベント

最先端IT・エレクトロニクス総合展
CEATEC
JAPAN®



名 称：CEATEC JAPAN 2015 (シーテック ジャパン 2015)

会 期：2015年10月7日(水)～10日(土)

会 場：幕張メッセ

主 催：CEATEC JAPAN 実施協議会

後 援：総務省／外務省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省 など

対 象：ビジネスユーザー、一般

来場者数：133,048人

■内容

CEATEC JAPAN 2015は、(一社)電子情報技術産業協会(JEITA)、(一社)情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、(一社)コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)の3団体が主催し、10月7日(水)から10月10日(土)までの4日間、千葉市・幕張メッセにおいて、総務省、経済産業省、NHK他25省庁・団体の後援、50団体の協賛により開催しました。

今回で16回目を迎えたCEATEC JAPANは、『NEXT -夢を力に、未来への挑戦』をテーマにサイバーフィジカルシステム(CPS)/IoTを重点分野として定め、IT・エレクトロニクスの技術革新と実世界・サイバー空間の情報連携がもたらす新たな社会の実現に向けた最先端の取組みを、IT・エレクトロニクス業界のみならず、他産業、ベンチャー企業、海外企業と連携して、発信を強化しました。

特別展示エリアとして展開をした『NEXTイノベーションエリア』では、近未来の社会全体を俯瞰して紹介。特に「モビリティ」、「ロボティクス」、「ウエアラブル」などのテクノロジ技術やIoTベンチャー企業の斬新な発想に多くの注目が集まりました。

IoT時代到来にむけた主催者特別企画「NEXTストリート」では、近畿日本ツーリスト、楽天などが初参加し、「観光」、「流通」、「技術」、「インフラ維持管理」、「地方活性化」など、ユーザの観点から様々な趣向を凝らした展示を展開しました。また、「IoTスタートアップ SHOWCASE powered by creww & SENSORS」においても、新しい次世代テクノロジの数々に多くの来場者が集まりました。

未来の生活や社会を俯瞰して体感することのできるエリアである「ライフ&ソサエティステージ」では、「8Kや10Kなどの次世代映像技術」、「様々な用途・場面に最適化されたウエアラブル機器」「人を助ける小さく賢く進化したロボット」、「安心・安全をサポートする機器」、「家庭内での家事をサポートするホームアプライアンス機器」など、単に機能や性能だけでなく、やさしく人間に歩み寄ることに努力している展示が数多く見られました。

もう一つの人気エリアである「キーテクノロジステージ」では、IoTの進化を支える世界最先端の電子部品・デバイスが紹介されました。高性能センサー、センシングデバイスをはじめ、モバイルツールなどの小型化とエネルギー効率向上を支える高機能電子部品の数々、さらには、自動運転を支援する部品デバイスや機器などが数多くのブースで大変わりやすく紹介されました。

展示会場に隣接する国際会議場では、「2020年に向けた世界最高水準テクノロジによって実現する未来への展望と期待」といった講演をはじめ、合計117のコンファレンスセッションを実施し、聴講者は延べ18,053名を集めました。

出展者数531社／団体（うち海外：19カ国／地域から151社／団体）、小間数1,609小間、会期中の登録来場者総数は、4日間合計で13万人以上となり盛況のうちに閉幕しました。

また、開催月のテレビ放映時間は、合計20時間を超えており、Website、雑誌、新聞を含めCEATEC JAPANにおける出展情報などは年間を通して数多く発信されています。

オフィシャルイベント

Mercedes-Benz Fashion Week
TOKYO

名 称：メルセデス・ベンツ ファッション・ウィーク 東京 2016 春夏
会 期：2015年10月12日（月・祝）～18（日）
会 場：渋谷ヒカリエ
主 催：(一社) 日本ファッション・ウィーク推進機構
共 催：
後 援：(一財) 日本ファッション協会／
（一財）日本アパレル・ファッショング産業協会／日本百貨店協会ほか
対 象：メディア、顧客、アパレル関係者
来場者数：約2万8,000人

■内容

渋谷ヒカリエを中心に開催される、「Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO」は、国内最大のファッションの祭典です。六本木のメルセデス・ベンツ コネクションをはじめ、都内の様々な開場での関連イベントも数多く開催。



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization

オフィシャルイベント JAPAN PRIZE 2015



名 称：第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

会 期：2015年10月15日（木）～22日（木）

会 場：NHK放送センター

主 催：日本放送協会

対 象：国内、海外の教育コンテンツ関係者、研究者ほか

来場者数：851人

■内容

「日本賞」は教育コンテンツの質の向上と国際理解の促進を目的として1965年に創設され、今回で創設から50年を迎えた。今年は世界55の国と地域から339の作品と企画が寄せられた。一次審査を通過した作品を、世界12の国と地域から招かれた国際審査委員12人が審査した。

会期中には、一次審査通過作品を上映し、制作者と参加者が交流するイベントや、都内の小学校視察に加え、メディアや教育の最前線で活躍する専門家が議論する制作者会議のほか、創設50年の記念イベントも実施し、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式では「グランプリ日本賞」ほか受賞作品が発表され閉幕した。

1. エントリー

339作品（コンテンツ部門293、企画部門46）が55の国と地域からエントリーされた。うち初参加の機関・団体による作品と企画は105。

2. 主な受賞作品

コンテンツ部門 グランプリ日本賞

「キミの心の“ブラック・ピーター”」

ファミリーフィルム＆テレビ（オランダ）

企画部門 最優秀賞

「ルイスとロバの英語教室」

アニメトロポ（コロンビア）

3. 授賞式（10月22日 放送センター 101スタジオ）

皇太子殿下のご臨席のもと、各賞の受賞者、審査委員、参加者、各賞授与団体（総務省、文部科学省、外務省、経済産業省、東京都他）、大使館関係者など261人の出席者を迎えて実施した。司会は女優の木村佳乃さんと、NHKの真下貴アナウンサー。

4. 日程

10月15日（木） 審査・開会セレブション

10月16日（金）～20日（火） 審査

10月19日（月）～20日（火） 一次審査通過作品上映会

10月21日（水） 教育コンテンツ世界制作者会議(IPCEM)

10月22日（木） 受賞作品上映会、授賞式

5. 参加者一覧

会期中のイベント 558人（30か国・地域）

授賞式 261人、受賞者パーティー 293人（38か国・地域）

6. 関連番組

「日本賞の8日間 世界の教育コンテンツ2015」

2015年11月14日（土） 16:00～16:59 NHK Eテレ

「まるごと見せます 世界の教育コンテンツ～日本賞2015～」

2015年12月31日（木） 14:00～17:00 NHK Eテレ

「U18 ぼくらの未来」

2016年1月3日（日） 17:55～18:55 NHK Eテレ

オフィシャルイベント



名 称：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015
 会 期：2015年10月21日（水）・22日（木）
 会 場：東京プリンスホテル（東京ドラマアワード2015授賞式）
 千代田放送会館（シンポジウム・海外作品上映会）
 主 催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会
 （構成団体）
 （一社）日本民間放送連盟／（株）TBSテレビ／日本テレビ放送網（株）／
 （株）テレビ朝日／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ東京／（株）WOWOW／
 日本放送協会／スカパーJSAT（株）／（一社）日本映画製作業者連盟／松竹（株）／
 東宝（株）／東映（株）／（株）KADOKAWA／（一社）日本音楽事業者協会／
 （公社）芸団協・実演家著作隣接権センター／
 （一社）全日本テレビ番組製作社連盟／NPO法人映像産業振興機構／
 （一社）日本映画テレビプロデューサー協会
 共 催：総務省／経済産業省
 協 賛：（株）電通／（株）博報堂DYメディアパートナーズ
 連携企画：TIFFCOM
 対 象：業界関係者／バイヤー
 来場者数：800人

■内容

- 「東京ドラマアワード2015」授賞式（※日本、インドネシア、ミャンマー、シンガポールで放送）
 - ・司 会：石坂浩二、堀井美香（TBSテレビアナウンサー）
 - ・ゲスト：佐藤健、黒木華、鈴木亮平、吉田羊、西村知美、シャーロット・ケイト・フォックス（ビデオレター出演）など

「東京ドラマアワード2015」受賞作品

作品賞<連続ドラマ部門>

- グランプリ 『天皇の料理番』 TBSテレビ
- 優秀賞 『マッサン』 NHK
- 優秀賞 『きょうは会社休みます。』 日本テレビ放送網
- 優秀賞 『アオイホノオ』 テレビ東京
- 優秀賞 『デート～恋とはどんなものかしら～』 フジテレビジョン

作品賞<単発ドラマ部門>

- グランプリ 『オリエント急行殺人事件』 フジテレビジョン
- 優秀賞 『坂道の家』 テレビ朝日
- 優秀賞 『遠い約束』 TBSテレビ
- 優秀賞 『永遠のゼロ』 テレビ東京
- 優秀賞 『十月十日の進化論』 WOWOW

J Series賞：『イタズラなKiss 2～Love in TOKYO』 フジテレビジョン

ローカル・ドラマ賞：『ここにある幸せ』 NHK福岡放送局

『UBASUTE』 北海道テレビ放送

海外作品特別賞：『娘のしあわせ』（インドネシア）

『ミセン～未生～』（韓国）

『サミー・ティートラ～夫の証～』（タイ）



●シンポジウム・海外作品上映会

シンポジウム「国際化時代におけるドラマ交流～世界に見せたいアジアのドラマがある～」

・モデレーター：こうたきてつや（日本大学芸術学部・名誉教授）

・パネリスト

タ イ：エーン・トーンプラソム（『サミー・ティートラ～夫の証～』エグゼクティブプロデューサー）
 アム・パイポン・ジットマイゴン（『サミー・ティートラ～夫の証～』監督）

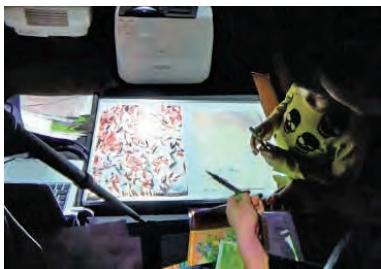
韓 国：チョン・ユンジョン（『ミセン～未生～』脚本家）
 イ・チャンホ（『ミセン～未生～』プロデューサー）

日 本：加賀田透（NHK・エグゼクティブ・プロデューサー）
 瀬戸口克陽（TBSテレビ・プロデューサー）

海外作品上映会

- ・上映作品：『娘のしあわせ』（インドネシア）
 『ミセン～未生～』 第1話（韓国）

オフィシャルイベント



名 称：デジタルコンテンツ EXPO 2015
 会 期：2015年10月22日（木）～25日（日）
 会 場：日本科学未来館
 主 催：経済産業省／（一財）デジタルコンテンツ協会
 共 催：日本科学未来館
 後 援：総務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／東京商工会議所／
 CG-ARTS協会（公財）画像情報教育振興協会／（一財）家電製品協会／
 （一社）電子情報技術産業協会／
 （一社）コンピュータエンターテインメント協会／
 （一社）東京臨海副都心まちづくり協議会／（一社）日本動画協会／
 （一社）VFX-JAPAN／（公財）ユニジャパン／
 日本バーチャルリアリティ学会／
 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／3Dコンソーシアム／
 立体映像産業推進協議会／上海マルチメディア産業協会／
 日中CG文化交流協会／香港貿易發展局／韓国コンテンツ振興院／
 台湾デジタルコンテンツ産業推進室
 対 象：業界関係者及び一般
 来場者数：45,512人（延べ人数）

■内容

デジタルコンテンツ EXPOは、日本のコンテンツ産業とコンテンツ技術のイノベーションの促進を目指し、コンテンツ関連技術の最新動向や将来像を国内外に向け発信するイベントです。今年もコンテンツ関連・IT関連をはじめとする産業界の企業、団体、大学等の学術組織、その他有識者の方々の支援の下、盛況裡に終了することができました。

第7回目となるデジタルコンテンツ EXPO2015は、4つのプログラム「Innovative Technologies」、「Features」、「Content Technology Showcase」、「特別企画」で構成されました。

「Innovative Technologies」（最先端技術の発掘・表彰事業）は、将来の産業界への応用が期待できる新技術を発掘し、それらの情報を広く共有しました。更に、毎夏、北米で行われるACM SIGGRAPHのプログラムである「Emerging Technologies」と、双方の技術・作品の中から優れたものを表彰し、招待・プレゼンテーションすることにより、日米2つのプログラムの関係強化を促進しました。

「Features」では、5年後の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、「スポーツを変えるコンテンツ技術」をピックアップし、屋内展示6件、4つの屋外体験イベント、講演・セミナーを行いました。

「Content Technology Showcase」では、来場者の方々に開発者の解説を聞きながら企業や大学が開発した37件の最新テクノロジーを実際に体験していただきました。

「特別企画」では、海外のコンテンツ産業関連団体と連携しながら、コンテンツ分野のイベント紹介や最新技術、作品展示、著名人による講演など、海外動向を伝えました。

テレビ、インターネット、新聞他、主要メディアからの情報発信の内容も年々充実し、昨年度に引き続き、ソーシャルネットワークサービスを活用した結果、大変多くの方々から関心を得ることができました。

参考) 主要メディア取材他

- ・TV NHK、日テレ、テレビ東京、MXテレビ等 15件
- ・新聞、雑誌等 日本経済新聞、読売新聞、毎日新聞、映像新聞等 15件
- ・WEB 521件
- ・Twitter ツイート 4,593件
- ・Facebook 投稿リーチ 14,000件

オフィシャルイベント



名 称：マンガフェスティバル in タイランド
 会 期：2015年11月6日（金）～11月8日（日）
 会 場：CENTARA GRAND & BANGKOK CONVENTION CENTRE (LOTUS SUITE 1～4) /
 CENTRAL WORLD (EDEN2・紀伊國屋書店バンコク店)
 主 催：マンガフェスティバル in タイランド実行委員会／経済産業省
 後 援：(一社)コンテンツ海外流通促進機構(CODA) /
 (独)日本貿易振興機構(JETRO) / 在タイ日本国大使館
 協 力：(株)アニメイト / (株)紀伊國屋書店 / (株)タトル・モリエイジエンシー /
 (株)トーハン / トランスクスモス(株) / Ookbee Company Limited /
 コミック出版社の会 ※敬称略・50音順
 対 象：一般、およびタイの出版社、ビジネスパーソン
 来場者数：36,761人

■内容

- ①展示会：バンコク最大規模のショッピングモールCENTRAL WORLDにおいて国内出版社による共同展示会を行い日本コミックの魅力を紹介
 - a. 「コミック出版社の会」各社のコミックスの展示（902冊）
 - b. 各社の電子コミック作品の体験コーナー（70作品）
及び ASEAN 最大の電子書籍ストア「OOKBEE」でのタイ語版電子コミック試験販売の促進を目的とした OOKBEE コーナーの設置（141作品・891巻）
 - c. コミックの複製原画、原稿の展示（2F会場51作品・6F会場113作品）
 - d. コミック原作のアニメーション放映（16作品）
 - e. 来場者アンケートの取得（500通）
 - f. 海賊版対策 正規版推奨メッセージボードの設置、加えて文化庁・CODAによる海賊版対策企画との協業
 - g. 正規版コミック関連グッズの試験販売（98アイテム・812点）
 - h. 作家のサイン色紙コーナー（28作家）
 - i. 作家の制作風景を映像で紹介するステージを含めた、ファン向けステージの開催
 - j. 同モール内の紀伊國屋書店バンコク店での、コミックス及び関連書籍フェアの開催と同時に、コミックス原画やポスター、スタンディ展示、アニメーション放映など実施し第二展示会場としても運動
- ②ビジネスセミナー：展示会場に隣接するCENTARA GRAND & BANGKOK CONVENTION CENTRE at CENTRAL WORLDにおいて、ビジネスセミナーを開催
 - ・紀伊國屋書店タイランドの影山支配人「タイ王国出版・書籍マーケットについて」
 - ・Ookbee 社 Natavudh Pungcharoenpon (ナタブ プンチャロポン) 社長「The market of ebook in Thailand and South East Asia」
- ③ビジネスマッチング：同会場にて、現地有力出版社14社に対して国内参加10社とのミーティングリクエストを募り、34以上の商談、ビジネスマッチングの場を設定
- ④交流会の開催：駐タイ日本国大使公邸(在タイ日本国大使館ご協力)を会場として、現地政府および出版社、関連企業、団体など幅広い参加を募り、有意義な意見交換の場を設定（138名）
- ⑤現地同時開催イベント (JETRO・日本レコード協会による「J POP Signature × J-Music LAB in Bangkok」、JNTO・観光庁による「Visit Japan FIT Travel Fair 2015 Winter」)と共に、“JAPAN WEEKEND”として連携
 - ・展示会場での連携ステージプログラム
 - ・合同記者会見の実施
 - ・Visit Japan FIT Travel Fair オープニングセレモニー参加
 - ・他、チラシ設置、映像放映等の広報連携
- ⑥現地コンテンツ関連スポットの視察ツアー開催
 - ・マーベンクロンセンター、チャムチュリスクエア、エムクオーティエ等を視察



オフィシャルイベント

Inter BEE 2015

International Broadcast Equipment Exhibition



名 称：Inter BEE 2015

会 期：2015年11月18日（水）～20日（金）

会 場：幕張メッセ

主 催：(一社)電子情報技術産業協会 (JEITA)

後 援：総務省／経済産業省 (建制順)

NHK／(一社)日本民間放送連盟 (JBA)／(一社)電波産業会 (ARIB)

(順不同)

対 象：国内外の放送局関係者、CATV、コンテンツ制作者、コンテンツ流通関係者、施設関係者、映像・音響・照明技術者、等

来場者数：35,646人

■内容

■過去最多となる996社・団体が1,780小間を出展、来場者数は35,646名を記録

(一社)電子情報技術産業協会 (JEITA:会長 水嶋繁光／シャープ(株)取締役会長)は、11月18日（水）から20日（金）までの3日間、幕張メッセ（千葉市美浜区）にて、音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2015」を開催した。

開催規模は、過去最多となる出展者数996社・団体（うち海外31カ国・地域から540社）、出展小間数1,780小間となり、幕張メッセ・展示ホール1から6までと国際会議場、イベントホール、屋外展示場を使用して開催した。

[2014年実績：977社・団体（うち海外33カ国・地域から543社）1,773小間]

登録来場者数は、3日間を通じて35,646人となった。報道関係者は過去最多の417名が国内外から取材に訪れ、Inter BEE の記事や映像が国内外各国・地域に向けて発信された。

■歴史と実績に基づく国内随一の「国際メディア総合展示会」

1965年より半世紀におよぶ開催を重ねてきたInter BEEは、総務省、経済産業省、NHK、(一社)日本民間放送連盟、(一社)電波産業会の後援、多くの関連団体の協力の下、「映像・放送関連機材部門」「プロオーディオ部門」「プロライティング部門」「ICT／クロスメディア部門」の4部門で展示構成され、放送事業者、通信事業者、プロダクション、ポストプロダクションをはじめ、メディア産業に関わる幅広いステークホルダーが内外より一堂に会す、年に一度の情報発信、情報交流のハブとなる機会として活用された。

2020年を見据えて進められる4K・8K超高精細映像などの次世代放送サービスの普及に向けた取り組み、IP化やクラウド活用にみられる放送・通信連携の進展など、放送を取り巻くビジネス環境は急速に変化している。

また、音響・照明技術などを駆使したライブエンターテインメント市場の拡大、スマートフォンやアクションカメラとドローンなどを駆使した映像撮影手法の多様化によるハイアマも含めたユーザ層の拡大、映像・オーディオのハイクオリティ視聴体験の広がり、超高精細大型映像の応用分野の拡大など、メディアとエンターテインメントのビジネス領域は、産業の垣根を超えて拡大・進化しており、Inter BEEの役割も多岐にわたり、ますます重要となってきている。

メディアビジネスの新たなトレンドを示し、関連する産業を牽引する国際的な「メディア総合展示会」として、Inter BEEには内外から熱い視線が注がれている。

■国際化とIoT連携によりさらに大きな潮流へ

Inter BEEには、国内はもとより、海外から音や映像の専門家やキーパーソンが来日するため、世界の最新動向を共有できる点も大きな魅力となっている。

さらに、今開催より、米国商務省「トレードフェア認定プログラム (Trade Fair Certification Program)」の公認イベントとして認定され、国際化に向けた取り組みを加速させるほか、今後の社会変革に向けて進展が期待されるIoTの動向とも連携を図り、今後はさらに大きな潮流へと躍進していきたい。

CoFesta2015 Partner Events

コ・フェスタパートナーアイベントは、コ・フェスティベントのうち、国際性及び規模等でオフィシャルイベントに準じ、コ・フェスタ実行本部が承認したイベントである。本年度は13イベントが認定された。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015

キネコ国際映画祭2015

第37回 PFFぴあフィルムフェスティバル

京都国際マンガ・アニメフェア2015

LA EigaFest 2015

吉祥寺アニメワンダーランド2015

2015きものサローネ in 日本橋

MPTE AWARDS 2015

Tokyo Docs 2015

TOKYO DESIGN WEEK 2015

第7回京都ヒストリカ国際映画祭

第6回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2015」

第19回文化庁メディア芸術祭



パートナーイベント SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2015

名 称：SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015

会 期：2015年7月18日～7月26日

会 場：SKIPシティ／こうのすシネマ／彩の国さいたま芸術劇場

主 催：埼玉県／川口市／SKIPシティ国際映画祭実行委員会／特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会

共 催：こうのすシネマ／(公財)埼玉県芸術文化振興財団

後 援：総務省／外務省／経済産業省／文化庁／(一社)日本映画製作連盟／(一社)映画産業団体連合会／
(公財)ユニジャパン／(一社)外国映画輸入配給協会／(公社)映像文化製作連盟／
(一社)日本映画テレビ技術協会／(一社)日本映画テレビプロデューサー協会／協同組合日本映画監督協会／
協同組合日本映画撮影監督協会／協同組合日本映画製作者協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／
生活衛生同業組合埼玉県映画協会／(一財)デジタルコンテンツ協会／特定非営利活動法人映像産業振興機構／
NHK／テレ玉／FM NACK5／埼玉新聞社／アイルランド大使館／オランダ王国大使館／キューバ共和国大使館／
セルビア共和国大使館／ハンガリー大使館／在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本／メキシコ大使館／
レバノン大使館

対 象：映画ファン、文化・芸術好き、高齢者

来場者数：9,375人（映画鑑賞者数）、54,810人（総来場者数：イベント等も含む）

■内容

12回目を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015は、7月18日（土）～26日（日）の9日間にわたり開催。映画祭のメインであるコンペティション部門の上映をはじめ、関連企画やイベント等も多数開催されました。

2015年のオープニング上映では、過去本映画祭に2回ノミネート経験のある福山功起監督が、川口市を舞台にある“家族”的を描いた『鉄の子』を上映。映画祭実行委員会が主体となって製作された本作の上映には、福山功起監督をはじめ、出演の田畠智子さん、裴ジョンミョンさん、スギちゃん、佐藤大志さん、舞優さんが舞台挨拶に登場。映画祭の幕開けを華やかに彩りました。

コンペティション部門には世界74の国と地域から長編部門469本、短編部門134本、アニメーション部門81本の計684本の応募がありました。その中から厳正な審査によって選ばれた長編部門12本、短編部門12本、アニメーション部門14本を会期中に各2回上映。国内外から監督やプロデューサー、出演者らゲストも多数来場、上映後のQ&Aや舞台挨拶に登壇し映画祭を盛り上げました。

また2015年の新企画のひとつとして、より多くの方に映画祭を楽しんでいただくため、こうのすシネマ（鴻巣市）、彩の国さいたま芸術劇場（さいたま市）の2ヶ所でサテライト上映を開催。短編部門のノミネート12作品を2日間にわたり上映しました。

その他にも、毎年恒例となったシネマ歌舞伎、バリアフリー上映、「アニメDAY」、関連企画も多数行われ、「Go-all」プロジェクト第3弾として製作されたオムニバス映画『4／猫-ねこぶんのよん-』の上映も行われました。

コンペティション各賞は、長編部門でキューバ作品『ビヘイビア』がグランプリを受賞、短編部門は『わたしはアーティスト』、アニメーション部門は『夢かもしれない話』がそれぞれ最優秀作品賞を受賞しました。

パートナーイベント キネコ国際映画祭 2015

名 称：キネコ国際映画祭2015

会 期：2015年8月11日（火）～15日（土）

会 場：渋谷区文化総合センター大和田さくらホール／シダックス・カルチャービレッジ

主 催：(一社)キンダー・フィルム（キネコ国際映画祭2015実行委員会）

実行委員長：志太勤一（シダックス株式会社代表取締役会長兼社長）

共 催：アーツカウンシル東京（(公財)東京都歴史文化財団）

後 援：駐日イスラエル大使館

対 象：1歳～の子どもと、そのご家族

来場者数：5,488人

■内容

キネコ国際映画祭は、1992年に始まった日本最大の子どもたちの国際映画祭。

23回目を迎える今回は「キンダー・フィルム・フェスティバル」から「キネコ国際映画祭」と名前を変え、開催地を調布から渋谷へ移し新たなスタートを切った。

8月11日から5日間、渋谷区文化総合センター大和田さくらホールでは作品上映を中心に、シダックス・カルチャービレッジでは全館を使用しワークショップやスタンプラリーなど上映以外の様々なイベントを行った。

上映作品は世界各国から集められた長編2本、短編12本のコンペティション作品と特集上映のイスラエル映画や国内作品を含めた長編4作品、短編11作品と合わせて30作品以上を上映。

ディレクター・ジェネラルを務める女優の戸田恵子さんを始めとする豪華なゲストたちがまだ字幕の読めない子どもたちでも映画を楽しめるよう、スクリーンの目の前で生で吹替えをする「ライブシネマ」を披露。

海外からは、作品の製作員や子役、子ども映画の関係者らもゲストとして来日し、ワークショップの講師やコンペの審査員として映画祭を盛り上げた。

また、2015年は初めての試みとして「バリアフリー」上映を実施。主に視覚障害に対応した副音声、聴覚障害に対応した障がい者用字幕をすべてのコンペ作品に導入。

コンペ作品の審査は、公募で集まった小学生12名の「キンダー審査員」によって、ティーンの制作した作品限定のコンペはプロの映画製作員によってそれぞれ審査が行われた。最終日のクロージングイベントで審査結果が発表され、5日間の映画祭を締めくくった。

パートナーアイベント 第37回PFF(ぴあフィルムフェスティバル)

名 称：第37回PFF(ぴあフィルムフェスティバル)

会 期：2015年9月12日(土)～24日(木)

会 場：東京国立近代美術館フィルムセンター

主 催：PFFパートナーズ=ぴあ、ホリプロ、日活／(公財)ユニジャパン

共 催：東京国立近代美術館フィルムセンター

後 援：(一社)日本映画製作連盟/NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／協同組合日本映画監督協会

対 象：一般、映画監督志望者、映画製作・映画配給関係者、映画・映像教育機関関係者

来場者数：5,500人

■内容

●コンペティション部門「PFFアワード2015」

全国から応募されたアマチュアの方々による577作品の中から入選20作品を東京開催中に2回上映し、最終日の表彰式にてグランプリをはじめとした各賞を発表、表彰。

その後、「第28回東京国際映画祭」との提携企画として、グランプリ作品「あるみち」の上映と、監督、出演者による質疑等を実施。また、全入選作品を京都、神戸、名古屋、福岡の4都市で巡回上映し、各地での観客賞の設定や、映画教育機関、上映団体等との連携による映画振興に努めている。

●招待企画

①「特集 サミュエル・フラー～誰もが憧れた奇跡の作家」

スコセッシ、ゴダールが高く評価し、国内での自伝の発刊を控えて再評価の機運が高まるフラー監督の日本未公開2作品を含む7作品を上映。幅広い年代の観客が来場し、幾つかの回で満席となる盛況であった。

②「映画のコツ～こうすればもっと映画が輝く」

映画製作において大きなキーである「美術」と、映画の総合的なリーダーである「プロデューサー」の役割について迫る講座付き上映企画。「美術」では、種田陽平美術監督と、デビュー作以来親交の深い周防正行監督との対談や、後者では伊地知啓プロデューサーと、濱口竜介監督をお招きして、具体的な事例を挙げつつ活発な議論を展開した。

③「映画内映画～映画は映画をつくることをどのように描いてきたか」

映画製作の歓びと苦しみに迫る6作品を上映。代表的な作品として、フランソワ・トリュフォー監督の「アメリカの夜」等に加え、PFFと縁の深い長崎俊一監督、鈴木卓爾監督の最新作をプレミア上映し、観客との質疑も実施。

④「世界が絶賛した日本の短編たち」

カンヌ、ヴェネチア、ベルリン等の世界の映画祭で高い評価を得ている実写、アニメーションを含む短編5作品を上映。

パートナーアイベント 京都国際マンガ・アニメフェア2015

名 称：京都国際マンガ・アニメフェア2015

会 期：2015年9月19日(土)～9月20日(日)

会 場：みやこめっせ(京都市勧業館)／京都国際マンガミュージアム

主 催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会／京都市

共 催：京都国際マンガミュージアム／KYOTO CMEX実行委員会／京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学

協 力：NPO法人映像産業振興機構／(一社)日本動画協会

助 成：平成27年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

対 象：一般

来場者数：36,951人(2015年度)

■内容

関西圏企業と首都圏企業を結ぶビジネスマッチングの場を創出するため、関西で優秀な若手クリエイターが育つための市場づくり、マンガ・アニメファン及び外国人も含めた新たな観光客の掘り起しこそ、関西圏のコンテンツ市場の構築を図るためにイベントです。



パートナーイベント LA EigaFest 2015

名 称：LA EigaFest 2015
会 期：2015年9月25日～27日
会 場：LA Live Regal Cinemas (米国ロサンゼルス)
主 催：Japan Film Society
共 催：Transformation Initiative, Inc
後 援：経済産業省／在ロサンゼルス総領事館／国際交流基金／JETRO
対 象：映画好きな米国人
来場者数：3,670名

■内容

Japan Film Society主催の映画祭「LA EigaFest 2015」は、映画の聖地である米国、ロサンゼルスにて三日間にわたり開催されました。記念すべき第5回目となる今回、映画祭の拡大に伴い、初めてダウンタウンロサンゼルスに位置するL.A. ライブで開催しました。L.A. ライブは現在ロサンゼルスで最も熱いとされている場所です。オープニング作品には北米プレミアとなる『るろうに剣心 伝説の最後編』を上映、日米メディアに囲まれたレッドカーペット上を大友啓史監督、青木崇高さん他、日米のタレントや業界関係者が歩いて賑わい、その後のアフターパーティーも盛り上がりました。クロージング作品には世界の北野武監督の最新作でヤクザコメディーの『龍三と七人の子分たち』を米国プレミアとして上映しました。その他、日本で大ヒットした土井裕泰監督の青春ドラマ『ビリギャル』の北米プレミアから、岩井俊二監督の青春アニメ『花とアリス殺人事件』まで、幅広いジャンルの映画を上映する他、ショートショートフィルフェスティバル＆アジア特別セレクションや、ショートコンペの入選5作品を上映。コンペの最優秀作品に選ばれた「こころ、おどる-Kerama Blue-」には、「ゴールデンジパング賞」が授与されました。ビジネスパネルでは「アニメビジネスの米国展開」について日本のコンテンツをアメリカで展開させる苦労と成功を知ったスペシャリストたちに議論頂きました。LA EigaFest 2015は、長編19本、短編8本の合計27本という過去最高となる作品数を上映し、大盛況のうちに終了しました。

パートナーイベント 吉祥寺アニメワンドラーランド 2015

名 称：吉祥寺アニメワンドラーランド 2015
会 期：2015年10月3日（土）～10月12日（月・祝）
会 場：吉祥寺駅周辺（武蔵野公会堂／吉祥寺シアター／井の頭公園ステージほか）
主 催：吉祥寺ウェルカムキャンペーン委員会（吉祥寺活性化協議会／武蔵野商工会議所／武蔵野市商店会連合会）
共 催：
後 援：武蔵野市／武蔵野市開発公社／東京都／経済産業省関東経済産業局
対 象：一般
来場者数：44,122人（2015年度）

■内容

吉祥寺は、模図かずお、大友克洋、江口寿史といったクリエイターや数多くのアニメスタジオが在住／存在し、多くのアニメコンテンツが生み出されてきたまちです。吉祥寺アニメワンドラーランドは、吉祥寺を「作品が生まれるまち」と位置づけ、地元アニメスタジオやクリエイターを中心に、商店街や行政等とのコラボレーションによって1999年度より開催されてきました。会場周辺には漫画やアニメ作品に登場するロケーションも多く、これらを観光資源として視野に入れつつ、毎年10月に2週間にわたり実施しています。多くの世代に楽しめる複数の企画がありますが、中でも吉祥寺シアターを会場に行われる「吉祥寺アニメーション映画祭」は今回11回目を数え、ハイレベルなアニメ作品のコンペティション映画祭として認知度が高まっています。

パートナーイベント 2015 きものサローネ in 日本橋

名 称：2015 きものサローネ in 日本橋
会 期：2015年10月7日（水）～10月10日（土）
会 場：10月7日（水）～9日（金）：YUITO 日本橋室町野村ビル5F・6F（中央区日本橋室町2-4-3）
10月8日（木）～10日（土）：日本橋三井ホールCOREDO 室町4F・5F・地下コンコース（中央区日本橋室町2-2-1）
主 催：きものサローネ in 日本橋 実行委員会
後 援：京都織物卸商業組合／東京織物卸商業組合／西陣織工業組合／名古屋織物卸商業組合／京都府／経済産業省
(三井ホール：企画展＆ショー／地下コンコース：「きもの100体スタイルズ」／YUITO：ワークショップ＆トークショー)
会場協力：日本橋三井ホール／野村コンファレンスプラザ日本橋／(一社)日本橋室町エリアマネジメント
特別後援：三井不動産(株)／野村不動産(株)
来場者数：(延べ)計12,340人

■内容

催事内容：「きものマルシェ＆ワークショップ」／「きもの企画展＆ショー」／企画展「きもの100体スタイリズム」
このプロジェクトは「きものを次世代につなぐ」ことを目的とした文化活動です。「きもののもつ様々な多様性を認め、その価値観の交流とPRを図るコミュニティ（祭り）」です。4回目を終えた同活動はきものが好きな業界関係者が自発的に開催し1万人以上の来場者と話題を集めている業界でもまれな活動となっており、今後さらに注目される活動となることでしょう。きものサローネは、きものに関わる方や日本橋の方々が業種業態の垣根を超え、オールジャパンで取り組み、和文化の創造と日本橋の活性化に貢献するところにその存在価値があります。あらためて協賛企業様、関係先の皆様、サローネに関わってくださったすべての方にお礼を申し上げます。

パートナーアイベント MPTE AWARDS 2015 第68回表彰式

名 称：MPTE AWARDS 2015 第68回表彰式

会 期：2015年10月28日（水）

会 場：六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリアム

主 催：（一社）日本映画テレビ技術協会

共 催：

後 援：経済産業省、ほか各関連団体

対 象：

来場者数：170人

■内容

MPTE AWARDS 2015 第68回表彰式を、2015年10月28日（水）15時～17時半、東京・六本木アカデミーヒルズ49オーディトリアムにて実施した。例年通り、CoFesta 2015のパートナーアイベントとして、また、東京国際映画祭の一環として開催した。

式は村瀬治男会長の挨拶ではじまり、「新会友」「第44回柴田賞」「第44回小倉・佐伯賞」「第68回映像技術賞」「第33回青い翼大賞」「第68回技術開発賞」「第7回 日本映画テレビ技術協会栄誉賞」「第18回 経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）」の表彰が行われた。

尚、技術開発賞は、毎年特に優秀な成果、業績を示した映画・テレビ等の技術に関する発明、考案、研究、開発などを選定する賞であり、国内における映画テレビ技術の向上と発展を更に推進し助長することを目的としている。映像技術賞も同目的の為、映像制作技術を対象とし選定している賞である。

今年はゲストプレゼンターとして、日本映画撮影監督協会 兼松熙太郎 理事長、日本映画・テレビ照明協会 望月英樹 会長、日本映画・テレビ録音協会 小野寺修 代表理事、日本映画・テレビ美術監督協会 小澤秀高 理事長、日本映画・テレビ編集協会 只野信也 理事長、テレビ日本美術家協会 高原篤 理事長をお呼びし、ご挨拶と授与を戴いた。

当日は170名の参加があり、式終了後は同会場にてささやかな懇親の場を設け、こちらも好評だった。恒例となったWEB生中継配信は、協会HPより2週間公開し、約500のアクセスがあった。

パートナーアイベント Tokyo Docs 2015

名 称：Tokyo Docs 2015

会 期：2015年10月25（日）～28日（水）

会 場：千代田放送会館（千代田区紀尾井町1-1）

主 催：NPO法人東京TVフォーラム（TTVF）／（一社）全日本テレビ番組製作社連盟（ATP）

後 援：総務省／経済産業省／東京都／日本放送連盟（NHK）／日本民間放送連盟（民放連）／放送文化基金／
放送批評懇談会／放送人の会／全国地域映像団体協議会（全映協）／映像文化製作者連盟（映文連）

対 象：放送関係者、関連団体、関係会社、学生など

来場者数：延べ1,300人

■内容

2015年のTokyo Docsは、10月25日（日）から28日（水）まで開催いたしました。

初日は「Asia Day」として、日本とアジアの制作を主役としたセッション内容となりました。Tokyo Docsから立ち上がりNHKで放送された、国際共同製作プロジェクト「カラーズ・オブ・アジア 2015」の作品上映会と制作によるディスカッション、さらには2016年の完成に向けて、4本の企画が日×アジア国際共同製作企画として選考されました。

2日目以降は、企画採択権限のある欧米、ヨーロッパ、アジアから招聘したディレクション・メーカー41名を前にして、国内19組、海外5組の企画提案者が、自らの企画を公開で提案する、ピッチングセッションを実施しました。ピッチングの後に行なったディレクション・メーカーと企画提案者の個別ミーティングでは、3日間で200件近いミーティングが行われ、多くの企画が国際共同製作に向け歩み出しました。



CoFesta 2015

パートナーイベント ABLE & PARTNERS TOKYO DESIGN WEEK 2015

名 称：ABLE & PARTNERS TOKYO DESIGN WEEK 2015

会 期：2015年10月24日～11月3日

会 場：明治神宮絵画館前

主 催：TOKYO DESIGN WEEK(株)／Design Association NPO

共 催：

後 援：経済産業省／東京都／J-wave

対 象：デザイン関係者／一般

来場者数：106,321人

■内容

30周年を迎えたクリエイティブの祭典、TOKYO DESIGN WEEK。デザイン・アート・ミュージック・ファッショニ、4つのジャンルから、総勢900を超える企業、ブランド、デザイナー、学校がそれぞれのクリエイティブを発表。30を超えるコンテンツを展開し、業界のみならず、大人から子どもまで楽しめるクリエイティブ・フェスとして10日間開催した。今年のテーマは、INTERACTIVE。チームラボによる「学ぶ！未来の遊園地」や、最先端ロボットとインタラクティブの融合「スーパーロボット＆インタラクティブ」、渋谷のハロウィンのゴミ問題を解決する「渋谷ゴーストバスターズ」など、来場者参加型のコンテンツが人気を集めた。また、日本各地のクリエイティブ活動を紹介するカンファレンス「地方創生シティ会議」や、世界中のデザインワーカー関係者が集うワールドデザインワークサミットなど、国内外のデザインネットワークとの連携が強化された。

パートナーイベント 京都ヒストリカ国際映画祭

名 称：京都ヒストリカ国際映画祭

会 期：2015年10月31日（土）～11月8日（日）

会 場：京都文化博物館／京都みなみ会館

主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（東映（株）京都撮影所／（株）松竹撮影所／京都府／立命館大学／京都文化博物館／（株）東映京都スタジオ／巖本金属（株））

共 催：KYOTO CMEX実行委員会

後 援：（一社）日本映画製作連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／（一社）日本映画テレビ技術協会／エフエム京都

協 賛：（株）テスパック／三井ガーデンホテル京都四条

協 力：大垣書店

助 成：芸術文化振興基金

対 象：一般

来場者数：2,564人（2015年度）

■内容

京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭であり、映画チャンバラワークショップ、企画コンペなどを併せ持つ、既存の映画祭の枠を超えた全く新しいタイプの映画祭です。

パートナーイベント 第6回 映文連国際短編映像祭「映文連アワード 2015」「International Corporate Film Showing 2015」

名 称：第6回 映文連国際短編映像祭「映文連アワード 2015」

「International Corporate Film Showing 2015」

会 期：2015年11月25日（水）～27日（金）

会 場：国立新美術館講堂／ユーロライブ

主 催：（公社）映像文化製作連盟

後 援：文部科学省／経済産業省／東京都／映像産業振興機構／日本映画テレビ技術協会／日本アド・コンテンツ制作会社連盟／日本ポストプロダクション協会／日本映画撮影監督協会／日本映画テレビ照明協会／高度技術社会推進協会／毎日新聞社／日本経済新聞社／映像新聞社／ユニ通信社

対 象：一般観客、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す学生等

来場者数：670人

■内容

「映文連アワード 2015」は、今年度3部門合わせて140作品の応募があり、1次審査及び2次審査を経て、9月中旬に最優秀作品賞（グランプリ）、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、部門優秀賞など、31作品の受賞が決定。11月25日国立新美術館講堂

において表彰式を開催し、受賞者に賞状とトロフィーを贈った。

11月26~27日の2日間、「映文連アワード2015」受賞作品上映会を渋谷・ユーロライブにおいて開催し、全受賞作品31本を「未来×記憶」をテーマに6プログラムに分けて上映。受賞作のプロデューサーや監督をゲストに迎え、トークセッション（「日本人の記憶とその技をめぐって」「映像の可能性を求めて～若手監督大いに語る～」）を行った。

また、26日夜には同会場にて、世界三大企業映像祭の今年度受賞作品を紹介する「International Corporate Film Showing 2015」を開催し、ドイツのWorld Media Festival、米国のInternational Film and Video Festival、フランスのCannes Corporate Media & TV Awardsの入賞作品20作品を一挙上映した。

パートナーアイベント 第19回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

名 称：第19回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

会 期：平成28年2月3日（水）～2月14日（日）

会 場：国立新美術館／TOHOシネマズ 六本木ヒルズ／スーパー・デラックス／セルバンテス文化センター東京

主 催：文化庁メディア芸術祭実行委員会

共 催：

後 援：

対 象：一般

来場者数：38,791人

■内容

2016年2月3日（水）から2月14日（日）までの12日間、東京・六本木の国立新美術館を中心に「平成27年度[第19回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展」が開催されました。本展では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で世界87の国と地域から過去最多となる4,417の応募作品より選ばれた全受賞作品と功労賞受賞者の功績等が紹介されました。

1. 展示・マンガライブラリー

国立新美術館の展示室では、4部門の受賞作品と功労賞の功績を一堂に展示。インスタレーション やグラフィック、映像作品にくわえ、ゲーム、ガジェット等の体験型作品も展示了しました。また、エンターテインメント部門大賞『正しい数の数え方』を毎日上演するとともに、アニメーションやマンガ作品を貴重な関連資料とともに紹介しました。また、マンガライブラリーではマンガ部門の受賞作品、審査委員会推薦作品（オンライン作品含む）を自由に読むことができる機会としました。

2. 上映

アニメーション部門の受賞作品を中心に、注目の映像作品などを集めたメディア芸術祭の特別プログラムを上映。さらに、受賞作家や監督が出演するトークイベントもあわせて開催しました。

3. ラウンジトーク＆ライブパフォーマンス

受賞作家のプレゼンテーションと作品の実演、パフォーマンス作品の公演を行う恒例のイベントシリーズ「ラウンジトーク＆ライブパフォーマンス」を今回も実施しました。国内の受賞者のみならず、海外の受賞者のパフォーマンスも鑑賞できる貴重な機会となりました。

4. シンポジウム

国立新美術館3階講堂および研修室A・Bでは、会期中19回にわたって、シンポジウムや受賞者トーク、上映トークを開催しました。功労賞受賞者のシンポジウムや、作家によるトークなど、その場でしか聞けない貴重な話題が展開されました。

5. ワークショップ

プログラミングの仕組みに触れられるワークショップを開催しました。メディア芸術の中には、デジタル技術、コンピュータプログラミングを使った作品が多くあり、その仕組みを理解し自分で作って楽しむ機会を提供しました。

6. 鑑賞プログラム

外国語が話せる、手話ができる、子ども好き、ITに詳しい等、様々な特長をもつコミュニケータと一緒に、おしゃべりを楽しみながら展示作品のいくつかを鑑賞する「おしゃべり作品鑑賞～コミュニケータと巡るメディア芸術祭～」を実施しました。また展示作品について解説を聞きながら体験できるガイドツアーを実施しました。

7. パフォーマンス公演

2月4日（木）には、セルバンテス文化センター東京において、アート部門優秀賞『Ultraorbism』を日本で初めて上演しました。

8. インターネット配信番組「DOMMUNE」での特別配信

メディア芸術祭の開催にあわせ、インターネット配信番組「DOMMUNE」を特別配信しました。今回は、文化庁長官と若手女性作家らによるトークを開催。『わたしたちがいま長官と話してみたいこと』をテーマに日本の文化、メディア芸術の未来について語り合いました。

コ・フェスタアンバサダー

■施策

コ・フェスタ事業の取り組みの一環として、2012年度よりコ・フェスタアンバサダー施策を継続し実行している。同施策の目的は、外国人消費者の声からマーケットの実態を把握しコンテンツ業界関係者に届けること（マーケティング）、そして、クールジャパンの魅力を外国人消費者の声を通じて自国はじめ海外に広く紹介すること（プロモーション）である。

■選考

コ・フェスタアンバサダー（以下、アンバサダー）の選考基準は、日本コンテンツのファンであり、SNSなどを駆使した発信力のある外国人であることが前提条件である。そして、日本国内の在住者においては、日本の文化やコンテンツを深く理解する外国人留学生を中心に「国内アンバサダー」、海外においては、日本コンテンツに関わるファン活動を実施し影響力を持つ学生や外国人インフルエンサーを中心に「海外アンバサダー」として任命した。

公募の結果、合計211名のアンバサダー登録があった。出身国は、41カ国・地域に渡る（アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インド、インドネシア、ウガンダ、エジプト、オーストラリア、オーストリア、カザフスタン、カナダ、キルギス、ケニヤ、コロンビア、ジョージア、シンガポール、スウェーデン、スペイン、スリランカ、タイ、ドイツ、ナイジェリア、ネパール、パキスタン、フィリピン、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベトナム、ペルー、ポーランド、ポルトガル、マレーシア、メキシコ、ヨルダン、ルーマニア、ロシア、韓国、台湾、中国、香港）。

海外アンバサダーにおいては、昨年度と同様、ASEAN地域を中心とした日本コンテンツ関連学生コミュニティの代表に巻き込み、今年度はさらに、エジプト、中国、フランス、メキシコと幅を広げた。彼らを中心に、世界各国におけるファンネットワークを活用した日本コンテンツの海外進出支援に取り組む体制を着実に築いている。

■活動内容

アンバサダーの主な活動として、「1.海外マーケット調査」「2.フィードバック」「3.外国人消費者への情報発信」「4.イベント運営支援」の4つが挙げられる。

1. 海外マーケット調査

アンバサダーの人的ネットワークを活用し、コンテンツ全般の消費実態について調査協力をした。具体的には、「グループインタビュー」「ウェブアンケート」「海外メディア露出調査」などのサービスが挙げられる。

2. フィードバック

コ・フェスタイベントに参加し、外国人消費者としての声を主催者へフィードバックした。また、ニーズに応じて、関係省庁やコ・フェスタ関連の企業やイベントを訪問し、アンバサダーの意見を活用いただいた。

3. 外国人消費者への情報発信

国内外の外国人消費者に向けた日本コンテンツのイベントや商品のPR活動をアンバサダーが担った。国内外のアンバサダーが運営するウェブサイトや個人のSNSアカウントでの情報発信、媒体向けレポート執筆など、関連企業や団体の要望に応じて対応した。

4. イベント運営支援

多言語対応可能なアンバサダーを、通訳スタッフや外国人来場者向けツアーガイドとして派遣することにより、日本コンテンツ関連イベントの運営支援を実行した。



オリエンテーション



任命式

コ・フェスタアンバサダー

■活動記録

日本在住の外国人留学生で構成される国内アンバサダーを中心として、コ・フェスタのイベントへの参加、企業訪問などを通じて、イベント主催者へフィードバックし、海外への情報発信を積極的に行った。ニーズに応じて、通訳スタッフ派遣や外国人来場者ツアー運営をするなどイベント運営を支援した。また、海外イベントの企画支援のため、世界各国の日本コンテンツファンを対象にした大規模ウェブアンケート調査（回答者3,000名以上）も実施した。

【訪問イベント】

- ・東京ゲームショウ 2015
- ・京都国際マンガアニメフェア 2015
- ・CEATEC JAPAN 2015
- ・2015 きものサローネ in 日本橋
- ・JapanContentShowcase 2015
 - TIFFCOM 2015
 - 第12回東京国際ミュージックマーケット
- ・東京国際アニメ祭 2015 秋
- ・国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015
- ・第28回東京国際映画祭
- ・第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
- ・デジタルコンテンツ EXPO 2015
- ・Inter BEE 2015
- ・マンガフェスティバル in タイランド
- ・AnimeJapan 2016



東京ゲームショウ 2015



京都国際マンガアニメフェア 2015



CEATEC JAPAN 2015



2015 きものサローネ in 日本橋



第42回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール



第12回東京国際ミュージックマーケット



TIFFCOM 2015



国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2015



第28回東京国際映画祭



デジタルコンテンツ EXPO 2015



Inter BEE 2015



AnimeJapan 2016

CoFesta 2015

コ・フェスタアンバサダー

【訪問企業】

- ・日本放送協会 (NHK WORLD)
- ・株式会社スクウェア・エニックス



日本放送協会



スクエア・エニックス

■海外アンバサダー

海外アンバサダー向けの施策として、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、中国、フランス、マレーシア、エジプト、メキシコの日本コンテンツ関連学生コミュニティの代表計10名を10月19～23日の期間で日本に招聘した。コ・フェスタのイベントや企業への訪問に加え、経済産業省メディアコンテンツ課へ表敬訪問し、「海外マーケット調査」や「外国人消費者への情報発信」に関する連携について確認した。

■プレゼンテーション大会

毎年年度末に実施するアンバサダーによるプレゼンテーション大会の前哨戦として、2015年12月22日に、日本コンテンツのインバウンド導線強化をテーマとしたアイデアコンテストを実施した。インドネシア、タイ、ベトナム、メキシコから5チーム合計6名のアンバサダーが参加し、日本コンテンツと観光をつなげる有効な施策についてプレゼンテーションを行った。最優秀賞にはベトナムチームが選ばれた。

そして、今年度のアンバサダー活動の集大成であるプレゼンテーション大会を、「日本コンテンツツアープランニングコンテスト」と称して実施した。5チーム合計6名のアンバサダーが参加し、ベトナムチームは『『BeauTV～VOCE～』×女子キレイ旅』、中国チームは『『5→9～私に恋したお坊さん～』×ドラマシーン情報サイト』、インドネシアチームは『『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない』×クール埼玉アプリ』、フィリピンチームは『『ザ・リング』×ホラーツアー』、フランスチームは『『ジブリ』×エコツーリズム』をテーマとしたプレゼンテーションを行った。最優秀賞はベトナムチーム、優秀賞はフランスチームに授与された。



インバウンドアイデアコンテスト
(2015年12月)



インバウンドアイデアコンテスト
(2016年3月)

プロモーション 広報制作物

■広報制作物

●ポスター

仕 様：フルカラー

配布先：実行委員会、コアイベント事務局、オフィシャルイベント事務局、関連省庁、自治体、その他関係団体など



●オフィシャルウェブサイト

U R L : <http://www.cofesta.go.jp/>

言 語：日本語、英語

facebook : <http://www.facebook.com/Cofesta>

コ・フェスタ (JAPAN 国際コンテンツフェスティバル) 2015 実施報告書

発行日：2016年3月
発 行：コ・フェスタ実行委員会
デザイン監修：(株)サムライ
Printed in JAPAN
© VIPO

住 所：東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F
NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) 内
電 話：03-3543-7321
F A X：03-3543-7322
U R L：<http://www.cofesta.go.jp/>



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用